

九中だより



令和3年10月19日(火)

教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

立川市立立川第九中学校 校長 三浦 光義

Tel042-535-1415 Fax042-534-6958



伸びる要素

副校長 堤 智一

学校には教科の授業や学活、総合的な学習や学校行事、部活動など様々な活動があります。これらの活動はすべて、生徒の皆さん一人一人が将来、一人の自立した大人として、社会の中でより良い生活ができるようになるために、人間性を伸長させるための活動と言って差し支えないと思います。

学校での限られた時間の中で行われる諸活動を通して、生徒の皆さん一人一人が最大限に「伸びる」(教職員や親御さんの立場では「伸ばす」)ためには、どのようなことが必要なのでしょう。私は、3つの「伸びる要素」が必要だと考えます。

第1は、「素直なこと」。教師や親御さんは、生徒の皆さんに様々なことを要求したり、言ったりします。これらはすべて、生徒の皆さんの伸長を願ってのことです。悪くしようとしている人はただの一人もいません。そんな教師や親御さんなどの願いを、素直に受け入れるかどうか、今後の伸長に大きな差となって現れます。素直な「気持ち」はとても大切です。

第2は、「前向きなこと」。物事を前向きに捉えることも、とても大切です。一流のスポーツ選手やビジネスで成功を収めた人たちの多くは、私自身が感心するほど前向きな姿勢(ポジティブ)です。「やればできる」「必ず成功する」と強く信じることで、伸びしろが変わってくることは、科学的にも証明されています。

第3は、「粘り強いこと」。何事もすぐに結果は出ません。結果が出るまではひたすら努力を続ける必要があるのです。壁を壊す(乗り越える)のに100回失敗したとして、100回やったけれどダメだったと諦めるか、100回やったのだから、諦めずにもう1回やってみようか、ということです。また、粘り強さの中には、回数だけでなく「時間をかける」ことも含まれます。伸びるためには一定の時間が必要だとするならば、その時間をどう確保するのも重要になってきます。例えば定期テストに向けた家庭学習では、学習時間の確保がとても大切なことは、実体験として学んだ人もいます。

今回は「伸びる要素」についての話でしたが、この要素は、生徒の皆さんに対してだけでなく、大人にも当てはまるものなのです。

10月後半の予定(新型コロナウイルス感染拡大の状況により変更される場合があります)

19	火	指導課訪問	26	火	大収穫
21	木	生徒総会④カット	27	水	新入生保護者説明会
22	金	進路説明会	30	土	土曜授業(収穫祭)

音楽学学習発表会に向けて



感染対策のため、パート練習を中心に各学級工夫して練習をしました。朝と放課後練習しました。

縦割り練習。上級生から下級生にアドバイスを受けます。特に1年生にとっては貴重な機会です。



大収穫・収穫祭も近づいてきました



立派に育ったサトイモ



ゴマの花とゴマの実

私たちの身近にある食べ物「ゴマ」ですが、花や実は普段なかなか見ることはありません。紫色の可憐（かれん）な花です。

【速報】音楽学学習発表会が実施されました（10月15日 たましん RISURU ホール）

・「リバウンド防止措置期間」のため、無観客での開催となりましたが、今年度はホールで開催することができました。

最優秀賞（3-1）



自由曲
「虹」

優秀賞（2-1）



自由曲
「時を超えて」

優秀賞（1-1）



自由曲
「My Own Road」

優良賞（1-4）



自由曲
「絆」

11月前半の予定（新型コロナウイルス感染拡大の状況により変更される場合があります）

1	月	小中連携挨拶運動	16	火	期末テスト（国 音 保体）
5	金	セーフティ教室	17	水	期末テスト（社 数 技家）
15	月	期末テスト（理 英 美）			

【お願い】毎朝8：15～8：25は教職員による朝の打ち合わせを行っております。欠席等の電話連絡は、この時間を避けていただきますようお願い申し上げます。